

1 テンプレートの基本機能

1. テンプレートとは？

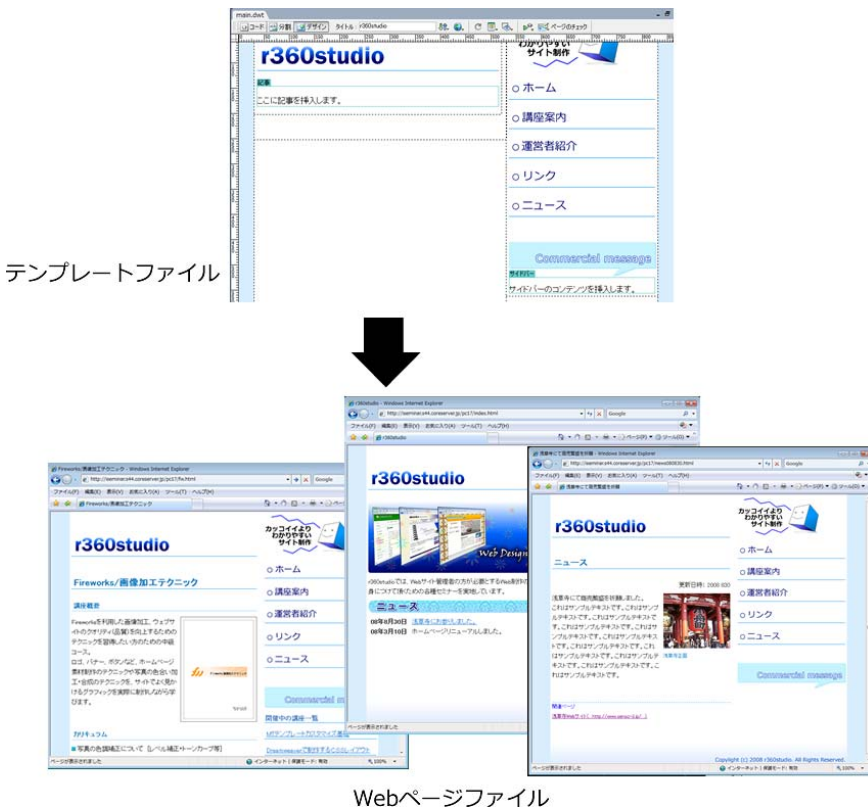
テンプレートとは、ページレイアウトを登録したフォーマット(ひな型)の役割を果たします。

同じようなレイアウトのページを複数ページも作る場合、白紙の状態から作るよりテンプレートから作成した方がスピーディに同じデザインのページを作ることが出来ます。

また、テンプレートは単にページの複製を作る役割だけではなく、レイアウトの更新/管理を一括でおこなうための「レイアウトの一元管理」機能があります。

元となるテンプレートファイルを更新すると、そのテンプレートから作られたページも合わせて一斉に変更されます。

このように、テンプレートはページレイアウトの統一性や共通化を図るために重要な機能です。

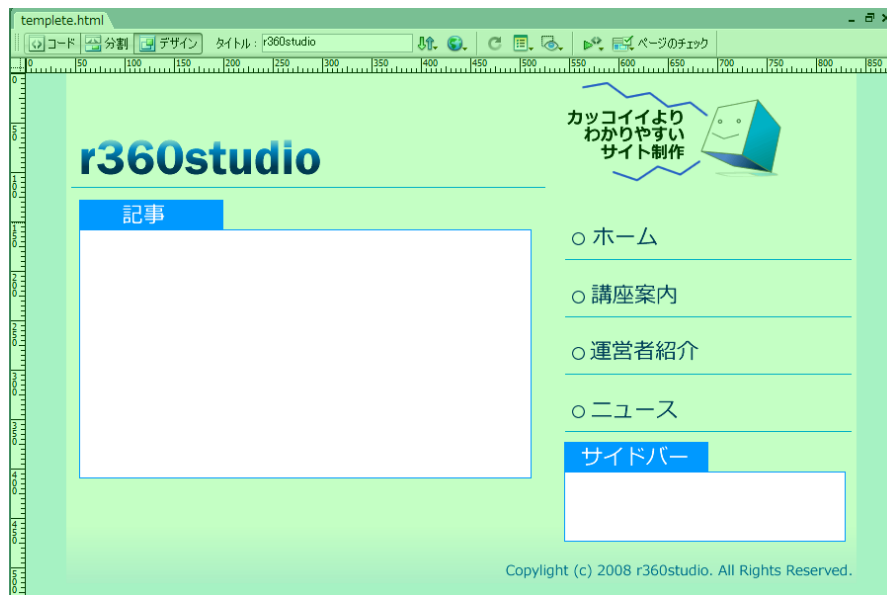


2. テンプレートの新規作成

既に作成された Web ページを元にテンプレートを作成します。

テンプレートにするページは、「全ページでの共通部分」と「ページ毎に作成する部分（編集可能領域）」の配分をあらかじめ考えてレイアウトしておきます。

今回は以下のような Web ページを準備しました。



CHECK POINT

通常、テンプレートでは内部埋め込みCSSを使用しません。CSSコードがHTML内に埋め込まれていると、CSS変更時にテンプレートファイルを都度更新しなくてはならないためです。

の部分は、「各ページ共通部分」です。

記事 と サイドバー の部分は「ページ別管理部分(編集可能領域)」です。

Operation

1. サイト定義を行います。

教材用フォルダ「site」をローカルルートフォルダに指定し、

配布資料を基にリモートサーバーの登録も行います。

2. template.html を開きます。



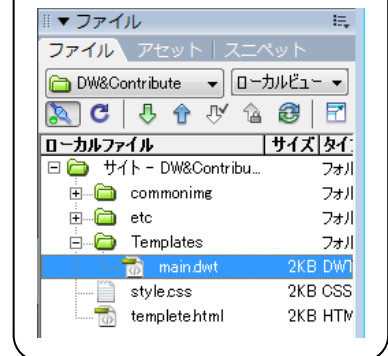
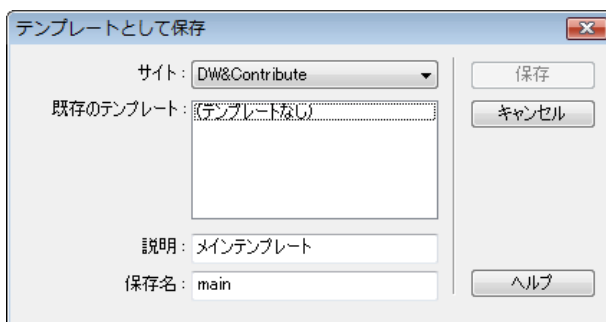
CHECK POINT

テンプレートファイルは、“Templetes” フォルダ内に保存されます。

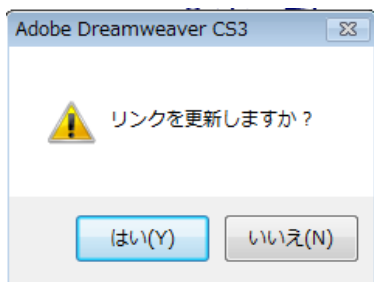
また、ファイルの拡張子は“dwt”です。

3. [ファイル]-[テンプレートとして保存]メニューを実行します。

「テンプレートとして保存」ダイアログでは、下記のように指定し [保存] をクリックします。



4. 以下のダイアログでは、[はい] をクリックします。



CHECK POINT

ページをテンプレートとして保存する時に、「リンクを更新しますか？」のダイアログがでます。

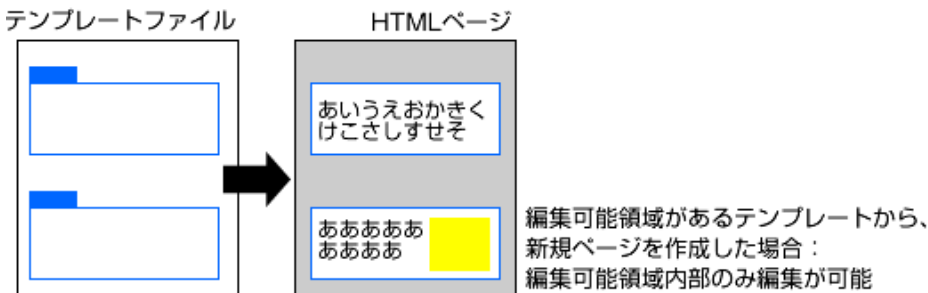
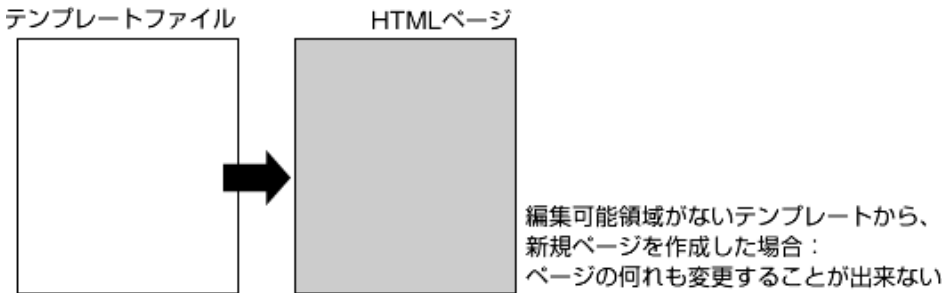
これは、テンプレートファイルの保存先フォルダが Templates フォルダに変更となるためです。

必ず「はい」を選択して下さい。

5. テンプレートファイル「main.dwt」が作成されました。

3. 編集可能領域を作成する

テンプレートを使って HTML ページを作成した場合、
 “編集可能領域”の枠内にのみ、自由に編集をすることを許されています。
 つまり、ページで編集を許可する場所に、編集可能領域を作成します。



CHECK POINT

編集可能領域は、テンプレートファイルに複数箇所指定することが可能です。

Operation

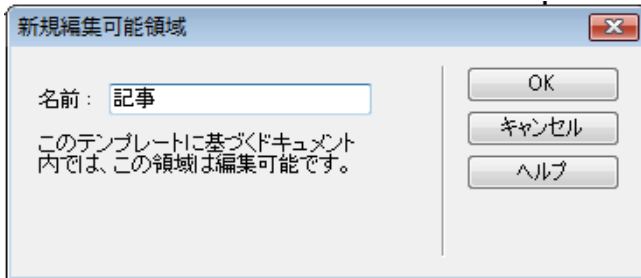
1. テンプレートファイル「main.dwt」を開きます。
2. 以下の部分を選択します。

【注意】タグセレクタを使い、段落の<p>タグも含めて選択してください。



3. [挿入]-[テンプレートオブジェクト]-[編集可能領域]メニューを実行します。

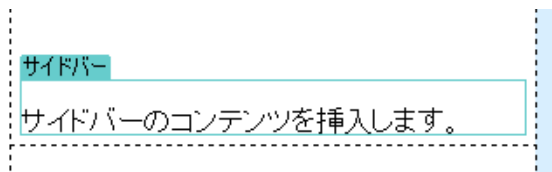
「新規編集可能領域」ダイアログで以下のように設定し[OK]をクリックします。



4. 編集可能領域「記事」が作成されます。(水色の線で囲まれた部分)



5. 同様の操作で、以下のような編集可能領域「サイドバー」を作成します。



6. ファイルを保存し、「main.dwt」を閉じます。

